

## 第19期 第15回 常任理事会議事録

日時 昭和53年3月27日(月) 15.00~17.00

場所 気象庁東京管区気象台会議室

出席者 岸保, 小平, 浅井, 朝倉, 内田, 奥田, 股野

報告

[庶務]

1. 3月3日, 地球化学研究協会から, 1978年度学術賞「地球化学研究協会三宅賞」の受賞候補者の推薦依頼がきた。
2. 3月8日, 日本学術会議会長から, 日本学術会議と学協会との懇談会の開催について出席依頼がきた(3月28日, 於日本学術会議大会議室)。
3. 3月11日, 自然災害科学総合研究班研究代表者河上房義氏から, 第15回自然災害科学総合シンポジウム開催についての後援依頼がきた(10月20, 21日, 於九州大学農学部, 九州大学記念講堂)。
4. 3月17日, 大阪府立大学から, 第16回粉体に関する討論会開催の共催依頼がきた。
5. 3月20日, 当学会関西支部から, 例会講演要旨集(第9号)が送られてきた。
6. 以下の事項につき書面審査の結果, 全理事27名中24名分受付,
  - (1) 昭和53年度学会賞, 藤原賞受賞者について  
学会賞 瓜生道也 可とするもの24  
藤原賞 片山 昭 同上
  - (2) 学会費値上げのための定款の一部改正について  
可とするもの23, 白票1
  - (3) 基本金の増額について  
可とするもの23, 白票1
  - (4) 第11期地物研連気象分科会委員の推薦について  
孫野 長治 可とするもの24  
田中 正之 同上  
有住 直介 同上  
神山 恵三 可とするもの21 否とするもの3  
小野 晃 可とするもの24  
岸保勘三郎 同上  
山元竜三郎 同上  
沢田 竜吉 同上  
増田 善信 同上

[天気] 昨年12月1日, 気象庁講堂において開催されたシンポジウム「天気予報の現状と将来」については, 講演企画委員会がまとめ3月号の“天

気”に掲載した。

[気象研究ノート] 134号「数値予報」は, 260~300頁となり, 目下印刷中である。

[講演企画]

1. 春季大会の研究発表数は, 144件で例年より少ない。これは, 大気汚染関係が少なくなったためである。発表の中に気象現象と地震予知を結び付けた申し込みが3名で4件あった。
2. 講演企画委員会で検討した結果, 月例会はそれぞれ歴史があるので現状のままが望ましい。シンポジウムに計画性を持たせた方が望ましいが, 秋季大会の地方の要望との関連をどうするか難しい面がある。
3. 新しい企画として, 特定テーマの集中講義を試みたい計画がある。期日は, 2日程度で有料とする。

議題

1. 会員名簿に掲載の学校, 研究所, 団体等について, 当学会に関係する学校, 研究所, 団体名を事務局でまとめた資料について, 検討の結果, もれているものは追加して掲載することを了承。
2. サテライトシンポジウムについて, 岸保理事長から日本で開催することになった経過について, 次のとおり報告された。
  - (1) 1月19日の常任理事会で議題として取り上げた時点ではWMOから何ら通知が来ていなかったが, その直後WMOから電報が来た。
  - (2) セミナーが10月24日~11月2日に行なわれるので, 引き続き11月3日~5日(3日間)に行ないたい。
  - (3) WMOは経費を出さない。小規模のシンポジウムを行なう。
  - (4) 実施については, 実行委員会と組織委員会を構成する。
  - (5) 詳細はおって報告する。
3. 春季大会の準備について
  - (1) 事業計画と経過については, 次回の理事会で検討することとする。
  - (2) 当番官署の気象研究所長に大会委員長をお願いすることを確認。
4. 第20期選挙管理委員長青田孝義氏の転任に伴い, 後任を片山昭氏に依頼することを了承。  
承認事項 小久保啓子ほか19名の新入会員を承認。